



新入生歓迎会が開かれました

4月17日（水）に生徒会主催の新入生歓迎会が開かれました。部活ごとに活動内容を紹介し、それぞれ工夫を凝らして発表を行いました。最後に吹奏楽部がディズニーメドレーを演奏して歓迎会を盛り上げました。1年生が入部することで部活動がさらに盛り上がることを期待しています。



4月26日は笠間中学校の創立記念日です

第二次世界大戦後、小学校6年、中学校3年といった学校の種類と修業年限を定めた教育体系が改革されたことに伴い、本校は昭和22年4月26日に笠間町立笠間中学校として開校しました。

当時の校舎は、今の笠間小学校のグラウンドの場所に建っていました。現在の場所には、グラウンドだけがあり、体育館の場所には沼があってカエルなどが棲んでいたそうです。校舎が移ったのは、昭和52年のことで、体育館は昭和53年に、武道場は平成29年に完成しました。本校は、今年で78年目を迎えます。



笠中生にすすめたい一冊の本 ⑱

今回は、筒井康隆の「旅のラゴス」を紹介します。筒井康隆は、日本を代表するSF作家で、代表作にはメディア化された「時をかける少女」「七瀬ふたたび」などがあります。

本の舞台は、高度文明が終わり、衰退化した時代。北から南へ、そして南から北へ。突然高度な文明を失った代償として、人々が超能力を獲得しだした「この世界」で、ひたすら旅を続ける男ラゴス。集団転移、壁抜けなどの体験を繰り返し、二度も奴隷の身に落とされながら、生涯をかけて旅をするラゴスの目的は何か？

異空間と異時間がクロスする不思議な物語世界に人間の一生と文明の消長をかつちり構築した長編。

この本は、店頭で見かけて思わず「ジャケ買い」しました。表紙の絵がなんとも不思議で興味をそそられたのです。正直、この作者の本は、これまであまり読んでいたことがありませんでしたが、読んでいくうちに物語の世界に引き込まれていきました。

読んだ後に旅に出たくなる一冊です。

※ このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

